

子どもたちの 学力向上のために



本市教育委員会では、「学力向上推進委員会」を立ち上げ、教育現場の状況やさまざまな調査結果などを基に分析し、子どもたちが「確かな学力」を身につけるための方策について検討を重ねています。

今回は、生活習慣と学力の関連性についてお知らせします。

基礎学力調査の結果から

子どもたちが本来持っている能力を発揮させるには、精神面で安定した環境が重要であることは以前から言われています。

本市の子どもたちの学力については、県全体の平均的レベルにあります。しかし、「学ばせたい・習慣」「生活態度」など情緒面では、低い傾向がみられます。

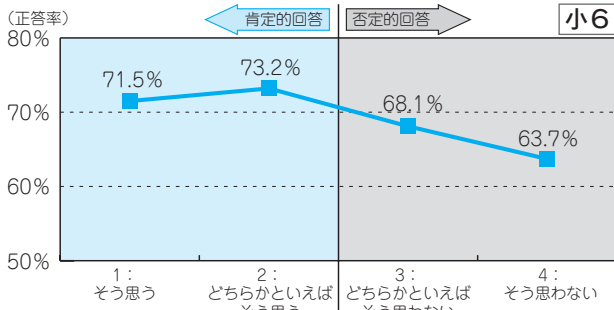
そこで、今年度県下で実施した「基礎学力調査」から、各学年の教科正答率と生活習慣との相関関係を見てみました。結果は左記のとおりです。

こうした調査結果から、学力向上には、学校・家庭・地域が互いの役割を再認識し、連携しながら心を育てていくことが非常に重要であるということがうかがえます。

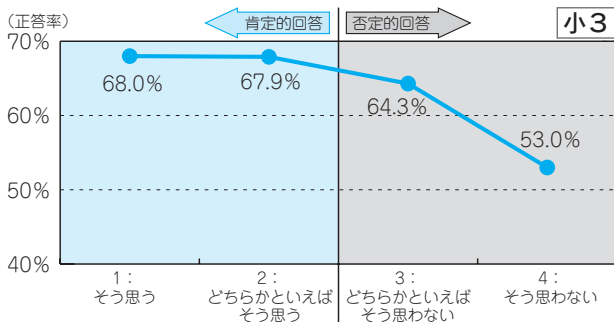
調査結果

平成18年度 生活習慣と学力の関連性について

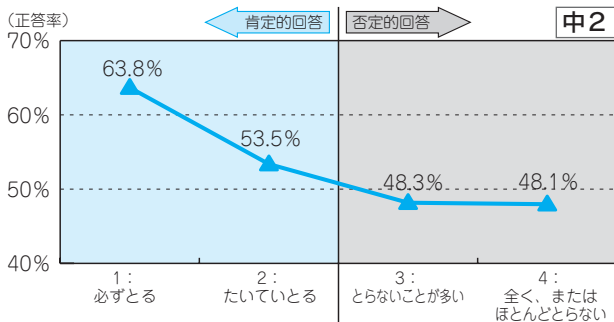
家の人はあいさつすることや正しい言葉づかいを教えてくれる



悪いことをしたときは、家の人はきちんと叱ってくれる



朝食をとりますか



※「基礎学力調査」に関するデータおよび「鳥取市学力向上推進委員会」の会議録は、市ホームページをご覧ください。

学力向上推進委員会が出された委員のみなさんの意見

- 「早寝・早起き・朝ご飯が、子どもたちの育ちの基本だと思う。これを実践することによって、見えない学力が見える学力につながっていく」
- 「よいことをしたらほめる。悪いことをしたら叱る。こうした、ちょっとした声のかけ方で違ってくる」
- 「家庭の役割、学校の役割というものがある。一緒になってできることを話し合い、歩み寄りながら取り組み、子どもたちをみんなで育てていきたい」
- 「学校・家庭・地域がお互いの役割を再確認することが必要だ」

市教育委員会では、みなさんのご意見・ご感想を学力向上の対策に役立てたいと考えています。左記の問い合わせ先までお寄せください。

問い合わせ先 市役所第2庁舎 学校教育課

TEL (0857) 20-3357 ・ FAX (0857) 29-0824